

## 令和5年度普及指導活動の外部評価の結果について

令和5年度において、「農業普及事業における普及指導活動の外部評価実施要領」に基づき、普及指導体制及び高岡農林振興センター並びに砺波農林振興センターを対象に行った農業普及指導活動の外部評価の結果について、下記のとおり公表します。

### 記

#### 1 外部評価会議の開催

対象所属（開催地）	開催月日
高岡農林振興センター（高岡市赤祖父 211）	令和5年12月12日（火）
砺波農林振興センター（砺波市幸町 1-7）	〃 11月14日（火）

#### 2 外部評価委員

氏名	役職等
金 奉吉	富山大学経済学部 名誉教授
松村 昭則	税理士法人富山合同会計 税理士
橋本 喜洋	富山県農業法人協会 会長
米島 晴雄	富山県野菜出荷組合協議会 会長
小室 哲平	富山県青年農業者協議会 会長
堀内 弘和	富山県農業協同組合中央会 農業対策部長

#### 3 対象課題

- 対象所属の全ての濃密指導計画課題について評価を実施した。
- そのうち対象所属ごとに以下の2課題について詳細な報告を行った。

##### ア 高岡農林振興センター

課題 No.	課題名	担当
1	地域を支える多様な担い手の育成・確保	担い手支援課 経営支援班
2	園芸発展モデル経営体の育成	担い手支援課 園芸振興班

##### イ 砺波農林振興センター

課題 No.	課題名	担当
1	農業経営の高度化・複合化と 次代につなぐ生産体制の構築	担い手支援課 経営支援班
2	大規模園芸産地の育成と基盤強化	担い手支援課 園芸振興班

- その他、県の普及指導体制及び人材育成等について評価を行った。

#### 4 評価委員の意見及び対応措置について

(1) 普及指導体制及び高岡農林振興センター並びに砺波農林振興センターで詳細な報告を行った課題への意見及び対応措置については、別紙のとおり。

(2) その他の濃密指導計画課題における主な意見としては、以下のとおりであった。

##### ア 高岡農林振興センター

課 題 名	主 な 意 見
中山間地域の活性化	鳥獣被害防止対策について、新技術を活用した省力的なイノシシ対策を実証し普及を進めようとしている点が評価できる。
園芸産地の基盤強化	収益性の高い園芸作物の販売拡大を目指し、栽培技術指導によって品質や作業効率を高めるだけでなく、生産物が売れる道筋も作り上げていく必要がある。

##### イ 砺波農林振興センター

課 題 名	主 な 意 見
地域の特色を活かした園芸品目の生産拡大	チューリップ球根のネット栽培技術普及の取組みが、産地の面積拡大につながっている効果を、成果として示してもよいと考える。
主穀作農作物の安定生産と水田フル活用による生産性の向上	麦、大豆などの生産量がさらに増加した際、販路はどの程度あり、収益を得られるだけの販売価格が維持できるのか気になる。